

第 7 回 球磨川水系水防災意識社会再構築会議

今後の「取組方針」について

令和 2 年 6 月 1 5 日

今後の「取組方針」について

これまで進められてきた取組

【避難行動、水防活動に資する基盤等の整備】

- 避難時間の短縮や避難後の心身への負担を軽減するための量及び質の面に配慮した**避難所の整備**：A
- 浸水発生時に地区が孤立化する可能性を踏まえた**水防備蓄倉庫の量的整備**：B
- 洪水に対するリスクの高い箇所への**河川カメラや水位計の設置**や通行可能な避難路の状況を示す**避難誘導案内板や監視カメラの検討・整備**：C

【避難を判断するための情報伝達に関する事項】

- 現在導入している避難勧告等の周知方法における不足・課題を踏まえた**メールサービス**やIP端末など、防災無線以外の方法も取り入れた**多角的な情報周知手段の導入**：F

【平時からの住民等の防災意識醸成に関する取組】

- 住民が作成する**防災マップづくりの支援**：K
- 住民や観光客に配慮した防災や水害への意識を高める機会を充実させるための地域の防災に関する情報について、**広報誌やホームページ、庁舎掲示板、観光案内所、駅への掲載・提供**：L
- 若い世代を含む幅広い年齢層が参加できる**防災講習会や訓練等の実施**：O

【防災活動の着実な実施・連携体制の構築に関する事項】

- 水害に対しリスクの高い箇所について関係機関と**合同で河川巡視を実施**：Q
- 関係機関が連携した**防災会議や訓練、演習の実施及び水防に関わる事項の情報共有**：R
- どこに何の備えがあるかを共有し、迅速な水防活動を実施するための防災会議等の機会を活用した**水防資機材の備蓄状況や連絡体制の確認・共有**：U
- 避難勧告等の判断を意識した**気象・水文情報の見方や洪水に対するリスクの高い箇所や氾濫の特性など**球磨川流域の特徴を首長に認識してもらうためのトップセミナーの開催**：W

今後の「取組方針」について

今後も引き続き必要な取組

【水害リスクの周知に関する事項】

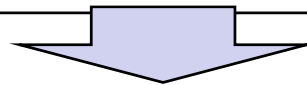
- 水害リスクや避難所の位置等を分かりやすく実感・記憶してもらうための、多言語にも対応した、想定浸水深や避難所等の情報をまちなかに設置する「まるごとまちごとハザードマップ」の取組：G
- 掲載情報の更新を容易にし、情報へのアクセス性を高めるための洪水ハザードマップの電子化及び想定し得る最大規模の降雨を踏まえた洪水浸水想定区域図をもとにした洪水ハザードマップの検討：H

【平時からの住民等の防災意識醸成に関する取組】

- 地区ごとの特性を踏まえた避難タイミングやその判断に必要な情報、連携体制等をパッケージで検討・確認し、住民が直接的に防災行動を意識するための、地区タイムラインの取組：N

【地域と連携した排水活動及び訓練、施設運用に関する取組】

- 市町村の枠を超えた広域避難計画に関する検討：X
- 排水ポンプ車の設置箇所等を具体的に示した排水計画の検討：Y



平成28年8月に「取組方針」を策定以降、流域一体となり、防災・減災の取組を実施
これまでの取組を踏まえ、次回幹事会を開催し、今後の「取組方針」について検討